

# 小学生のぼうさい探検隊 マップコンクール 入選作品集



## 「ぼうさい探検隊」とは...

子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災、防犯、交通安全の施設・設備を発見してマップにまとめる活動のことです。マップ作成後は、発表を通してまちの安全・安心を振り返ります。子どもたちの「防災意識が高まる」だけでなく、まさに地域ぐるみの防災“ 共有 ”が着実に深まり、コミュニティーの強化にもつながります。



マップづくり



まち歩き



発表

社団法人 日本損害保険協会

〒101-8335  
東京都千代田区神田淡路町2-9  
URL <http://sonpo.or.jp/>

(お問い合わせ先) 生活サービス部  
TEL:03-3255-1294  
FAX:03-3255-1236



かけがえない環境と安心を守るために  
(社)日本損害保険協会はISO14001を取得しています。

社団法人 日本損害保険協会 会員会社

あいおい損保	セゾン自動車火災	日本興亜損保
朝日火災	ソニー損保	日本地震
アニコム損保	損保ジャパン	日立キャピタル損保
エイチ・エス損保	そんぽ24	富士火災
SBI損保	大同火災	三井住友海上
共栄火災	東京海上日動	三井ダイレクト
ジェイアイ	トーア再保険	明治安田損保
スミセイ損保	日新火災	
セコム損害保険	ニッセイ同和損保	

2008年2月現在 (会員会社25社50音順)

社団法人 日本損害保険協会

## ごあいさつ

私ども日本損害保険協会をはじめ「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」主催4団体は、2003年度から「ぼうさい探検隊」活動の普及を図るためこのコンクールを実施し、今年度で4回目を迎えました。

今回は、昨年4月1日から11月22日までの間マップコンクールの募集を行ったところ、前回よりも応募が大幅に増え、全国257の小学校や団体から、1,374ものマップの応募がありました。

マップづくりに参加された児童数は実に10,000名を超え、また、子どもたちのまち中探検に協力された保護者やボランティアの方々、ご指導いただいた先生を加えると、実に数万名の方がこの活動に参加されたことになります。

このことは、回を重ねるごとにこの活動が着実に広がりを見せていることの現われと思います。

応募いただいた1,374の全ての作品には、それぞれ子どもたちの目で見えた気づきや提言、あるいは自分たちを地域の大人たちが見守ってくれていることに気づいたなど、それぞれの思いが一杯詰まった作品ばかりでした。

この入選作品集は、文部科学大臣賞をはじめ入選された7作品と審査員特別賞を受賞された8作品をご紹介しますことで、子どもたちの気づきや安全な地域になって欲しいといった願いを多くの方に知っていただきたく作成しました。

大人が子どもに防災教育を教えるのではなく、大人も子どもと一緒に「防災を学び、そして育っていく」、まさに「防災教育から防災共育へ」、そんな力が「ぼうさい探検隊」にはあると思います。

マップをつくり、コンクールに応募するだけでなく、すべての応募作品をもう一度使って、あらためて地域を再発見し、そしてこの「ぼうさい探検隊」をキッカケにした地域ぐるみの防災“共育”が着実に根つき、広がることを祈念いたします。

最後に、この活動にご賛同いただき、惜しみないご協力を賜りました政府機関、関係団体の皆様、そしてマップコンクールにご参加いただいたすべての皆様にあらためてお礼を申し上げます。

2008年2月  
社団法人 日本損害保険協会  
専務理事 半田 勝男

### 主催

社団法人 日本損害保険協会 / 朝日新聞社 / ユネスコ /  
特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

### 後援

内閣府 / 総務省消防庁 / 文部科学省 / 警察庁  
全国都道府県教育委員会連合会 / アジア防災センター  
社団法人 日本ユネスコ協会連盟

# Contents

## 目次

### 第4回

### 小学生のぼうさい探検隊 マップコンクール

フォーラム	2~3P
本審査会	4P
懇親会	5P
入選作品	6~23P
応募数	24~25P



# フォーラム

## 表彰式

2008年1月19日(土)に、東京都の浜離宮朝日小ホールにおいて第4回「ぼうさい探検隊フォーラム」が開かれ、あわせてマップコンクール表彰式が行われました。



プレゼンター、入賞の児童・指導された担当者の方々と一緒に記念撮影



ぼうさい探検隊賞を受賞した「ひなん所メグレジャー」代表児童の山本さん



未来へのまちづくり賞を受賞した「春来小学校ぼうさい探検隊」代表児童の小谷さん



まちのぼうさいキッズ賞を受賞した「シマトッカリぼうさい探検隊」代表児童の加藤さん



ちょっと緊張ぎみの入賞されたみなさん



インタビューに答える消防庁長官賞を受賞した「細呂木守っ隊」代表児童の森川さん



防災担当大臣賞を受賞した「興津っ子」代表児童の黒岩さん



壇上に勢ぞろいした入賞の児童のみなさん



ロビーに展示された入賞作品とわがまち再発見賞受賞の「もみじっ子防災探検隊」代表児童の田中さん



入賞作品の前で記念撮影する文部科学大臣賞受賞の「チーム女子刑事セブン」のみなさん



会場内は満席

## 講演



「ぼうさい探検隊実践事例」の報告者



基調講演を行う室崎審査員長

# 本審査会

全国の小学校や子ども会など257校・団体から、1374作品もの応募があり、厳正なる審査を重ねた結果、入選15作品を決定しました。

## 全体的な傾向

- ・小学校と地域団体(ボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会、少年消防クラブなど)の応募比率は、小学校が159校で62%、地域団体が98団体で38%でした。
- ・地震や津波をテーマとした防災マップのほか、不審者が出没しそうな危険な場所を示す防犯マップや交通事故の危険の高い道路などを示す交通安全マップも多々ありました。

## 地域性

- ・全国41都道府県から幅広くご応募いただきました。(前回40都道府県)
- ・県別の応募団体数では東京都が41校・団体でトップ、次いで神奈川県が23校・団体となっています。海外からはアメリカ、トルコからも、オリジナリティあふれる作品をご応募いただきました。

## 学年別

- ・小学校からの応募では4年生がもっとも多く、5年生と6年生がそれに続きます。1・2年生応募は全体の17%でした。
- ・団体からの応募の場合は、1年生～6年生までが一緒にまちなか探検を実施して作成したものが多く見受けられました。



## 本審査委員

- 室崎 益輝氏**  
総務省消防庁 消防研究センター所長(審査員長)
- 梶山 正司氏**  
文部科学省 スポーツ・青少年局 学校健康教育課 課長補佐
- 山谷 英之氏**  
内閣府 企画官(防災担当)災害情報調査室長
- 金谷 裕弘氏**  
総務省消防庁 国民保護・防災部 防災課長
- 渥美 公秀氏**  
大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター 准教授
- 柄谷 友香氏**  
名城大学 都市情報学部 准教授
- 秋山 和男氏**  
文部科学省 国際統括官付ユネスコ協力官
- 石井 勤氏**  
朝日新聞社 コーポレート・コミュニケーション本部長
- 志鎌 敬**  
社団法人 日本損害保険協会 常務理事

## 審査総評

審査員長 **室崎 益輝氏**  
(総務省消防庁 消防研究センター所長)



### 子どもたちの「発見」の豊かさ

今回の審査で特に感じたのは「ぼうさい探検隊」の活動の密度が高くなっていることでした。まちの隅々まで歩き、さまざまな角度から、防災・防犯・交通安全の問題をとらえようとしている姿勢が、多くの作品からうかがえます。子どもたちの「気づき」が豊かになり、いままでにない新たな発見も見られます。「興津っ子」のマップでは、橋の下から見るとコンクリートから鉄筋がむき出しになっている箇所を発見しています。「春來小学校ぼうさい探検隊」では、水の少ない土地での「ため池」という知恵を発見し、学んでいます。

また、子どもの目線を感じる作品が増えています。例えば、火災をテーマにした「細呂木守っ隊」では、道路のまん中にある消火栓について、このような場所にある消防の人が水をちゃんと出せるのかを指摘しています。また、自転車に乗って危険な場所を確認するなど、子どもたちの素直な視線でしかわからない発見をしている作品もあります。

### マップづくりが地域への働きかけに

マップの提案力が非常に高くなっていることも注目すべき点です。ただ「危険な場所に近づかないようしよう」「犯罪に気をつけよう」と呼びかけるだけでなく、どこにどういう危険・問題があるのかを正確にとらえて伝え、的確な改善策を示しています。「チーム女子刑事セブン」では、マップで提案することによって地域に働きかけて実際に改善させていました。社会に対してアピール性をしっかり持った提案といえます。「シマトッカリぼうさい探検隊」では空家が多いことに気づき、問題提起をしています。これまで防災や防犯対策といえば、子どもが大人に学ぶと考えられてきましたが、これらの作品を見ると、子どもが中心となりそれに大人たちが巻き込まれて地域の防災を考えるようになってきていると感じました。

### 広がっていく「ぼうさい探検隊」活動の裾野

今回は前回の224団体を上回る257団体から応募がありました。全国で1万人以上もの子どもたちが参加していることとなります。取り組みを通じ、これだけ多くの子どもたちが地域に関心を持ち、たくさんの人たちと出会い、防災・防犯・交通安全の知識を学んでいるのはすばらしいことです。また今回は小学校での取り組みが増えました。活動の裾野が広がっていることも大きな収穫のひとつです。今後も、日本中のあちこちで「ぼうさい探検隊」活動の芽が膨らむことを期待します。

## 懇親会

表彰式のあとは、朝日新聞社東京本社にて、入賞校・団体の代表児童、保護者、指導された担当者を交えた懇親会が開催されました。



表彰式が終わり関係者が勢ぞろい



ちょっと緊張しながら自己紹介



指導された担当者に受賞の感想をインタビュー



児童たちに喜びの声を聞きました



みなさんとの親睦も深まりました



なごやかな雰囲気の中で食事を楽しみました



# 文部科学大臣賞

静岡県浜松市立伊平小学校

【チーム女子刑事セブン】 6年生 7名

テーマ 交通安全



**選考基準** 防災教育に対する学習意欲が感じられ、且つ仲間との協調性が感じられる作品

**評価されたところ** 子どもたちが「全校児童が安全に登下校できるよう地域の人に提言したい」という明確な学習意欲が見られ、チームとして地域への提言をコンパクトにまとめたこと、そして自分たちも大人と一緒に安全な町を作ろうという意識の芽生えと、地域の方への感謝の気持ちがマップから伝わってきたことが高く評価されました。



通学路を調査しています



「チーム女子刑事セブン」のみなさん

### 工夫点

- ・実際の地図に児童の家の印を入れることで、より自分の問題としてマップを見てもらうようにした。
- ・「自分たちが気をつけること」や「大人や地域の人たちへの呼びかけ」の言葉を入れた。

### 提言

- ・大人も子どもも交通ルールをしっかりと守ってほしい。特に子どもの飛び出しや自転車の乗り方は気をつけたい。
- ・学区を通る国道257号線は、交通量が多いわりに歩道が整備されていない。歩道があると安全に登下校ができると思う。

### 子どもたちの感想

- ・毎日の通学路だが、詳しく安全を調べてみると危険箇所が多い。
- ・地域の自治会長さんや警察署の方々とも交通安全について話し合うことができよかった。実際さっそく手立てを打ってくれたところもあり、小学生の意見でも地域のために活かされていることを実感した。

### 担当者の感想

- ・子どもたちは自分の登下校の際に通る通学路の安全について、小学生の視点から詳しく調べることができ、改めて危険箇所を見つけ問題意識を持つことができた。

## 入選を聞いて VOICE



みんなで協力して完成させたマップが入賞して、とてもうれしいです。通学路には危険箇所が多かったですが、地域の人たちが私たちの声を聞いて安全なまち作りに取り組んでくれていることもわかってよかったです。(渥美 詩織さん)



今回の受賞を、交通安全調査を行った6年生全員と共に大変喜んでます。本活動が身近な通学路における安全意識を高めたり、地域の人とのかかわりを感じたりする良い機会となりました。本当にありがとうございました。(山田 真代子先生)





# 防災担当大臣賞

高知県四万十町立興津小学校

【興津っ子】 6年生 6名

テーマ 防災



**選考基準** 地域の防災意識向上につながる作品、地域住民の防災対策に役立つ作品

**評価されたところ**

地域特性を踏まえ、テーマを津波に設定してポイントを絞ったこと、子どもたちが広範なエリアをまちなか探検し、避難場所や誘導灯の場所をよく調べてマップにまとめるとともに、さらにその問題点を指摘したこと、そして、防災対策に役立つようにまちなかの様子が伝わる温かみのある手書きのマップが高く評価されました。



堤防の見学をしました



「興津っ子」のみなさん

**工夫点**

・近々起こる可能性の高い南海大地震とそれによる津波の発生を想定し、避難経路、避難場所の検証を行い、避難場所を写真で示して安全性、利便性を明確にした。

**提言**

・多くの避難場所が、震災の影響を受けた時、そこまで行けるのかどうか不安に思える。  
・生活道が1本しかなく、雨が降るとよく石が落ちているので、早く地震に強い道路整備を望む。

**子どもたちの感想**

・マップ作りでは、調べたことや写真などをどのように配置していくのが難しく苦労した。仕上げてみると課題が見えてきて、早い機会にもう一度マップ作りをしたい気持ちになった。  
・普段なにげなく通っていた所が危なかったことから、見方を変えることによって、見えてくるものが違ってくるのがわかった。

**担当者の感想**

・子どもたちにとって、多くの避難場所には行ったことがなく、実際に行ってみて安全性や所要時間がわかったのが、今後に役立つと予想される。

## 入選を聞いて VOICE



みんなで協力して一生けん命作成した防災マップが、このような賞に選ばれてすごくうれしいです。この賞を励みに、これからも地域のために役立つ防災活動に取り組みたいです。  
(黒岩 唯織さん)



地域と連携した防災教育を推進して3年目の年に、このような賞を受賞したことをうれしく思います。地域に根ざした教育の積み重ねがあったからこそ、今回の賞をいただくことができたと考えます。ありがとうございました。  
(近森 幹夫先生)





# 消防庁長官賞

ほそ ろ ぎ  
福井県あわら市細呂木小学校

【細呂木守っ隊】 5年生 11名

テーマ 防災



**選考基準** 消防の施設、設備がしっかり調べられ、災害発生時の被害軽減に役立つ作品

**評価されたところ** 地域で火災が発生した場合に、地域で十分な対応ができるのかという明確な問題意識を子どもたちが持ってまちなか探検し、その中で発見した地域の問題点とその対処法に加えて、火災時に役立つ消火器具に注目し、その使い方も詳細に調べて、被害軽減に役立つようまとめていることが高く評価されました。



消防団の分団長さんのお話をうかがいました



「細呂木守っ隊」のみなさん

## 工夫点

- ・火事に対する設備を調べ、シールで表した。また、地域の消防団の車庫を見学し、防災資機材を詳しく調べるとともに、分団長さんにインタビューして、結果をマップに記した。

## 提言

- ・避難場所付近やまちなかには備蓄倉庫がないことがわかったので、早く設置してほしい。
- ・道路の穴、崖崩れが発生しそうな場所など、危険箇所がいくつか見つかったので早急に直して欲しい。

## 子どもたちの感想

- ・日頃、安全だと思っていた私たちのまちにも様々な危険箇所があることがわかった。
- ・火事に対する設備がよく整っていることに安心した。地域の人たちが日頃からボランティアで頑張っていることを知った。

## 担当者の感想

- ・自分の身近な所で地域の安全を守る多くの人々が活動していることを知り感謝の気持ちを持つとともに、改めて自分たちの住む細呂木地区のことを考えるきっかけになった。

## 入選を聞いて VOICE



先生から入賞の知らせを聞いた時は、本当にうれしかったです。クラスみんなも「夢じゃないか」と言うほどでした。クラス全員で一斉けん命、細呂木地区の防災について調べた結果が受賞につながって、最高の気分です。(森川 晴香さん)



ぼうさい探検隊やマップ作りを通して、子どもたちの地区に対する関心や防災に対する意識が、確実に変化したことを感じます。その上、素晴らしい賞までいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。(山田 幸子先生)



# 賞 まちのぼうさいキッズ賞

(ユネスコ提供)

北海道斜里町立峰浜小学校

【シマトツカリぼうさい探検隊】 1～6年生 12名

テーマ 防災



**選考基準** 地域の情報を細かく取材し、子供たちによる独自の提案が見られる作品

**評価されたところ** 色使いがとても鮮やかで、ひと目見ただけで斜里町の風景が目に見えてくるマップとなっていること、役場や消防団等にインタビューするなどして地域の特性を詳細に取材してマップに表現したことが高く評価されました。



消防団を見学してお話をうかがいました



「シマトツカリぼうさい探検隊」のみなさん

### 工夫点

- ・小さなまちだからこそできる全体の詳細な把握。大自然に抱かれた地域とここで生活する人々の営みも含めてマップに表現した。
- ・スクールキャラクターのキタキツネ「キキ」をマップの案内役としたり、子どもたちの似顔絵を使うことにより、より親近感のもてるマップにした。

### 提言

- ・普段遊んでいる海辺にはたくさんの危険があることがわかった。また、学校の安全対策の状態を確認した上で、災害に応じた適切な対応が必要であることを認識した。
- ・地域にお年寄りが多く居住することから、災害時お互いに助けあうことが必要と感じた。

### 子どもたちの感想

- ・たくさんの人にインタビューして、災害がどれほど危険なのか、その災害をどう防ぐのかわかった。聞いた話をこれから生かしていきたい。
- ・小学校が避難場所となっていることなど、防災に関係ある場所の多さに気づいた。

### 担当者の感想

- ・実際に災害が起こった時にどう対応すべきか、子どもたちと共に新たな視点で学ぶことができた。これを機会に、自分の命は自分で守る力を、しっかりと身につけてほしい。

## 入選を聞いて VOICE



今回は「まちのぼうさいキッズ賞」に選んでいただき、本当にありがとうございます。みんなと協力して、わかりやすくなるように工夫してがんばりました。特に絵をがんばって描きました。  
(加藤 菜央さん)



知床半島の付け根に位置する峰浜地区。今回の取り組みで『地域力』の強さを再認識したとともに、子どもたちの地域への理解がより深まりました。見て聞いて学んで、がんばった子どもたちへ素晴らしいご褒美をいただき、誠にありがとうございます。  
(乙部 純子さん)





# 賞 未来へのまちづくり賞

(朝日新聞社賞)

はる き  
兵庫県新温泉町立春来小学校少年消防クラブ

【春来小学校ぼうさい探検隊】 1~6年生 10名

テーマ 防災



**選考基準** 地域の特徴や防災に関する情報が第三者にもわかりやすく表現されている作品

**評価されたところ**

山の斜面に面した村であることから、地滑りに備えて水が自然に流れるように工夫し、また一方で火事に備えて水が貯まるようにしたなど、先人の知恵について子どもたちが老人会へのインタビューを通して詳細に調べたこと、そして、マップの中で子どもたちのまちへの愛着が第三者にもわかりやすく表現されていることが高く評価されました。



自分たちのまちの備えを確認しました



「春来小学校ぼうさい探検隊」のみなさん

工夫点

・高学年を中心に、誰がマップを見てもわかりやすいよう工夫し、集めた資料を統計的に配置した。

提言

・この集落は山の傾斜地にあるため、道路の寸断などが予想される。そのため、大きな防火水槽の設置や大災害時に備えた非常食の必要性を感じた。

子どもたちの感想

・マップの作成は放課後を利用した。探検は真夏の猛暑日であったため、疲れることもあった。  
・1人の力は小さいが、10人の力は偉大だった。マップが完成すると喜びが増した。来年も参加したい。

担当者の感想

・知らなかったことを知る喜びを感じ、子どもたちの目に輝きがあった。  
・自分たちの住む地域は自分たちで守ることを改めて知った。

入選を聞いて

VOICE



ぼくたちのマップがみんなに認められてうれしかったです。実際に歩いて調べて、防災についていろいろなことがわかりました。これから、この活動で知ったこと、考えたことを生かしてもっと安全な春来にしていきたいです。  
(小谷 尚頌さん)



全校児童10名での少年消防クラブ活動。ひとりひとりの子どもが役割を持ち「地域は家族」をテーマに実施した「ぼうさい探検隊」。入賞は子どもたちに「協力」と「努力」の意味を再認識させてくれ、今後の学校生活に大きな励みになると確信しています。ありがとうございました。  
(西本 巧さん)





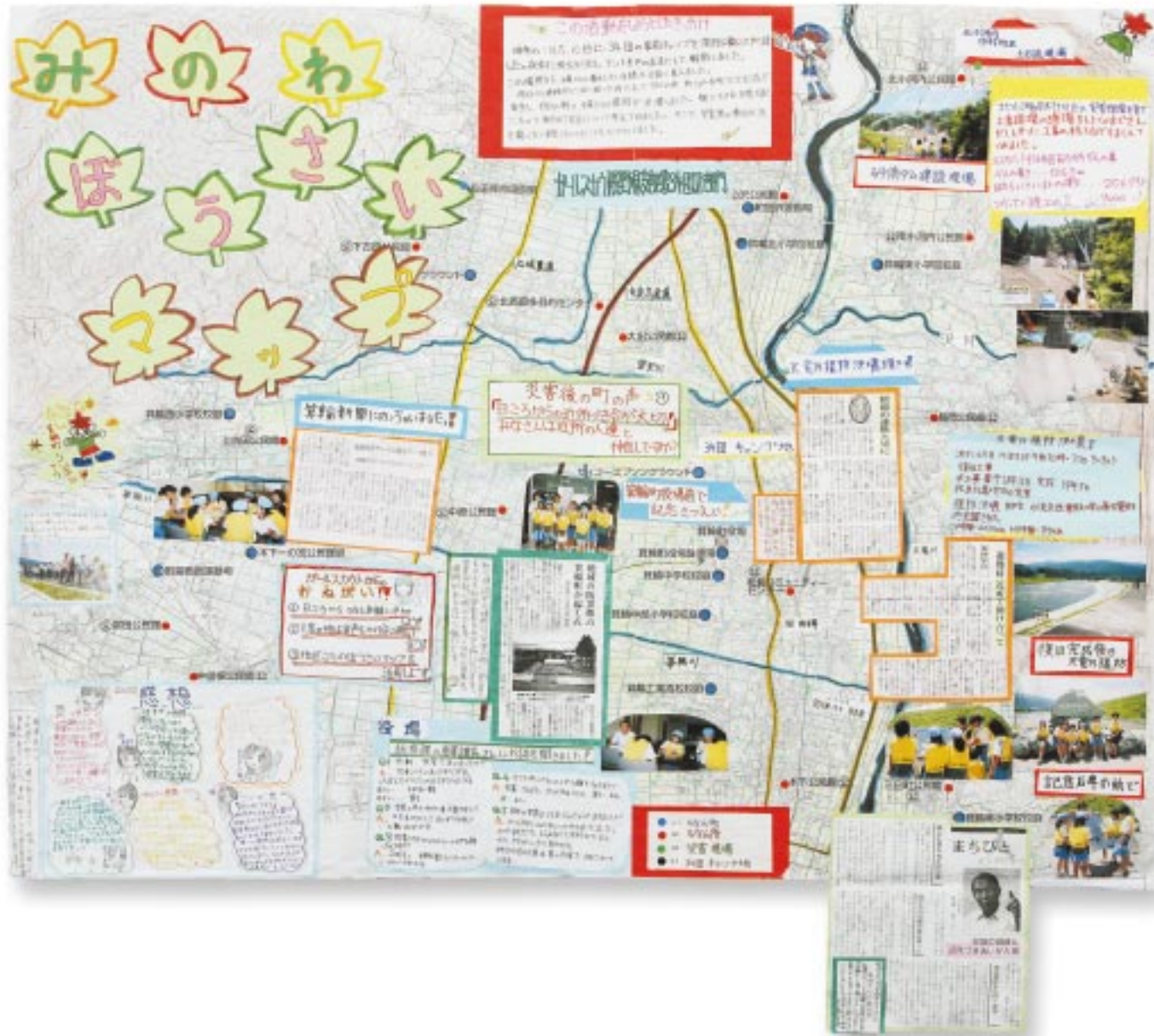
# わがまち再発見賞

(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

ガールスカウト日本連盟 長野県第34団

【もみじっ子防災探検隊】 5・6年生 6名

テーマ 防災



**選考基準** 地域の災害の特性を理解し、地域への関心や愛着が感じられる作品

**評価されたところ**

地域の堤防決壊という子どもたちが実際に体験したこと、地域が水害に遭いやすいことに着目してマップを作成したこと、また、色分けして見やすいマップにしたことや新聞記事の切抜きを活用するなど、多くの情報を盛り込む工夫をしたこと、そして隣近所で助け合うことの大切さに着目して地域への関心や愛着が高く評価されました。



暑いなか、一生懸命調べました



「もみじっ子防災探検隊」のみなさん

### 工夫点

・新聞、テレビなどのメディアの情報をキャッチする点を工夫した。そこから学んでいく方法として、新聞記事をスクラップして載せたことで、災害にあって実際にどう行動したか、これからどう生かしていくかをわかりやすくした。

### 提言

・日頃から避難訓練に参加しよう。  
・災害の時は、皆で声をかけあい助け合おう。  
・地区ごとの防災マップを活用しよう。

### 子どもたちの感想

・このマップを作り、改めて防災について考えることができた。  
・いつもは災害など気にしないでいたが、実際には災害があり、避難した人が多くいたことにびっくりした。

### 担当者の感想

・子どもたちがまちの人たちと話す中で、地域の関心や愛着が高まった。身近に起きた災害を自分自身の問題として捉え、今後の防災に役立てていきたい。  
・隣組の付き合いなど、近所の方と仲良く付き合っていくことが大事だと感じた。

## 入選を聞いて VOICE



私たちガールスカウトJr部門の6人は、一昨年(平成18年)震輪で大きな災害があり、防災について調べました。災害現場に行ったり、調べたことを工夫してマップにまとめました。みんなで協力し、一生懸命作ったマップが受賞できてうれしいです。  
(田中 琴美さん)



発団25周年に、このような素晴らしい賞をいただくことができ、最高の喜びです。マップ作りを通して自分たちの住むまちを再認識し、さらに住みやすいまちになるために手助けができるよう、学んだことを生かして行ってほしいと願っています。  
(上野 良子さん)





# ぼうさい探検隊賞

(日本損害保険協会賞)

北海道上富良野町 少年消防クラブ

【ひなん所メグレんジャー】 4～6年生 8名

テーマ 防災



**選考基準** 地域や人々とのつながりおよび安全・安心への意識の高まりが感じられる作品

**評価されたところ**

活火山である十勝岳の噴火に悩まされてきたというまちの歴史を踏まえ、火山災害、泥流災害という地域特有の災害をテーマとして設定したこと、また、まちの方にアンケートを実施して災害に対する住民意識を調べたことや地域にお年寄りが多いことからみんなで助け合うことの必要性を訴え、安全・安心への意識の高まりが感じられたことが高く評価されました。



みんなで協力しながらマップを作っています



「ひなん所メグレんジャー」のみなさん

**工夫点**

- ・子どもからお年寄りまで、誰が見てもわかりやすいマップを作ることをテーマのひとつとして取り組んだ。
- ・部分的に立体を取り入れたこと、また、見るだけでなく触って学ぶことのできる防災マップとした。

**提言**

- ・泥流災害の危険地域には、避難所マップの看板を立てたり、各家庭に防災に関するしおり等を定期的に配付するなど、住民全員が災害時の避難行動をスムーズに行える対策をとってもらいたい。

**子どもたちの感想**

- ・今回のマップ作成は、宿泊研修も兼ねて避難所である防災センターで実施した。実際に避難所に宿泊することで、避難所生活の不便さ、集団生活の大変さを体験することができた。
- ・郷土館を見学し、噴火・泥流の恐ろしさを学んだ。

**担当者の感想**

- ・テーマを持ってマップ作成に取り組む中で、子どもたちから多くのアイデアが出され、改めて子どもの発想力の豊かさを実感した。子どもたち自身、また友だちや親などにマップ作りで学んだことを伝えていくことにより、まち全体の防災意識の向上につながると思う。

**入選を聞いて VOICE**



まちなかの探検はたくさん歩き、暑くて大変だったけど、みんなで作った防災マップが選ばれてとてもうれしかったです。防災マップ作りで自分の避難する場所がわかったので、もし災害が起きたらすぐに避難しようと思います。  
(山本 健太郎さん)



「誰もが見やすいマップにしよう」と全員で知恵を出し、作り上げた作品が今回の受賞につながったことを大変うれしく思います。マップ作りで学んだことは子どもたちの財産となり、将来必ず役立つものになることと思います。  
(坂本 知弥さん)





# 審査員特別賞

埼玉県さいたま市立高砂小学校【高砂小学校安全委員会】 6年生 5名



みんなで夏休みに集まって作った安全マップが入選して、とてもうれしかったです。協力して下さった地域の方々に感謝したいです。浦和駅はますます交通量が増えると思うので、これからも調べていきたいです。  
(阿部 愛美さん)



浦和駅東口再開発に伴って、学区内の交通量も変わるのではないか、という視点からマップ作りを始めました。自分たちが住んでいる地域の安全について、これからも考える気持ちを持ち続けてほしいと願っています。  
(布施 宏一先生)

**テーマ：交通安全**

評価されたところ

- ・変化しつつある町の交通による危険を調査し、都会の小学校ならではのマップとなっている。
- ・「道路が完成したあとも調べたい」など、まちの変化を継続して調べていきたいという前向きな姿勢がうかがえる。



# 審査員特別賞

長野県松本市立岡田小学校【探検ファイヤー】 4年生 10名



入選と聞いてびっくりしましたが、とてもうれしかったです。本郷消防署の方に防火水槽やめずらしい形の消火栓を案内していただき、今まで何気なく歩いていたあちこちに、防災設備があることがわかりました。町会長さんから昔は田溝池があふれて洪水になったとお聞きし、びっくりしました。  
(加藤 結さん)



消防署や駐在所、消防団や地域の方々との楽しいふれあいや、インタビューをしながら教えていただいたこと、驚いたことなどを自分たちの力で工夫してまとめたマップが入選とのこと、とてもうれしく思います。今年芽生えた防災意識をつなげて広めていってほしいです。  
(青木 幸子先生)

**テーマ：防災**

評価されたところ

- ・楽しい見出しもついて壁新聞のように見やすく工夫されている。
- ・貯水槽の中にある発泡スチロールの発見など、調査・取材が行き届いている。

東京都立川市立第十小学校【十小GOGOたんけん隊】 3～6年生 6名



ぼくたち十小GOGOたんけん隊のみんなは、協力してぼうさい探検隊マップを作りました。このマップを作ることでまちの防災について知ることができました。これからもっと防災について調べていきたいです。ぼくたちのマップが審査員特別賞に選ばれてうれしく思います。  
(中山 博貴さん)



本校では、夏休みにサマースクールという自主講座を開きますが、今回初めてぼうさい探検隊マップを作る講座を開講してみました。マップの完成で十分達成感を味わいましたが、賞までいただくことができたことは望外の喜びです。  
(相田 修治先生)

**テーマ：防災**

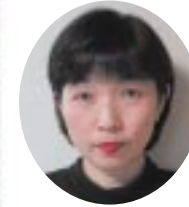
評価されたところ

- ・自分たちがまちなか探検で何を調べたいのかを明確にした上で地域をよく歩き、マップに表現されている。
- ・感想だけでなく、提言が前向きにうまくまとめられている。

滋賀県守山市ふけ町ふるさとクラブ【ふけ町ふるさとクラブ夜回り隊】 5・6年生 13名



多くの作品の中から賞をもらい、とてもうれしく思います。自治会長さんにインタビューしましたが、このまちにはあまり事件がありません。これからも安全で住みよいまちであるよう、このマップが役に立てばと思います。  
(井上 愛理さん)



子どもたちは塾通いや習い事の合間をぬって毎日放課後、地域の会館に集まりマップを作りました。やっていくうちにアイデアがどんどん出てきて最後は素晴らしいマップに仕上がりました。応援してくださった地域の皆さんへ感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。  
(長谷川 恭子さん)

**テーマ：防犯**

評価されたところ

- ・地域、テーマが絞り込まれていてわかりやすい。
- ・昼だけでなく夜もまちを見廻り、街灯がほしいという説得力のある提言がなされている。



# 審査員特別賞

滋賀県大津市南郷学区チェリーファイターズ【チェリーファイターズ】 3年生 3名



「やった!」特別賞と聞いた時、飛びはねて喜びました。いつも平気で自転車に乗っているけれど、マップを作って調べてみると危ない所がよくわかりました。おまわりさんと初めて話したのでドキドキしました。来年もチャレンジしたいです。  
(櫻井 稔子さん)



初めての活動で入選し大変うれしく思っています。子どもたちの素直な気づきをマップにしました。炎天下でヘトヘトになりながらも楽しんで取り組み、マップ作りを通して考える、表現する、やり抜くことができたことが、とても大きな自信になりました。ありがとうございました。  
(櫻井 悦子さん)

**テーマ：交通安全**

評価されたところ

- ・自分たちが日頃遊んでいて感じた危険を防ぐにはどうしたらよいかを、子どもらしく分析している。
- ・質問がストレートでわかりやすく、子どもの視点が伝わってくる。



# 審査員特別賞

三重県鳥羽市安楽島子ども会【安楽島キッズ探検隊】 5年生 4名



今回も入選できてうれしいです。「ぼうさい探検隊」で体験したことや、マップ作りで学んだことを忘れずに、もしもの時に役立つようにしていきたいです。ありがとうございました。  
(藤村 亜可梨さん)



3回続けての入選で、大人も子どもも「ぼうさい探検隊」がやめられなくなりそうです。子どもたちの活躍で「防災って案外楽しい!」「防災は特別なものじゃない」ということが地域に広がりがつあります。今後も地域の方の理解と協力を得て「ぼうさい探検隊」を続けていきたいと思います。  
(浜口 敬司さん)

**テーマ：防災**

評価されたところ

- ・津波の「5メートルの点線」を書き込んだり、危険な箇所を書き込んだりとわかりやすく工夫されている。
- ・津波からの避難経路もうまく写真で示している。

奈良県生駒市桜ヶ丘小学校区こどもじま子ども会【ぼうさい探検隊】 3・4年生 14名



「入選したよ」と聞いてびっくりしました。学校でみんなに見てもらったり、先生に「がんばったね」と言われてうれしかったのに、またうれしい気持ちでいっぱいです。来年も挑戦したいです。  
(高橋 花帆さん)



子どもたちと「今までに“ドキッ”としたことがあるか」などと話し合いながら校区内の危険な所を再確認できました。この企画に参加できたことをうれしく思っていたところに、入選の知らせを聞き二重の喜びです。  
(高橋 麻子さん)

**テーマ：防犯**

評価されたところ

- ・自分たちの体験に基づいてまちを歩き確認しているところに説得力がある。
- ・マップと事例の取り上げ方、写真の撮り方、配置の仕方が工夫されていてわかりやすい。

和歌山県和歌山市立四箇郷北小学校【四箇北パワフルズ】 4年生 72名



72人で協力して、思いをこめた「防災マップ」。先生から審査員特別賞をもらったと聞いてとてもうれしかったです。このマップを学校のみならず地域の人にたくさん広めて、安全なまちをつくりたいです。  
(丸田 華子さん)



「去年の先輩に続こう!」と子どもひとりひとりが真剣に取り組んで作った防災マップが入選したことをとてもうれしく思います。今度はこのマップ作りを通して学んだことを、先輩に伝えていき、より一層、子どもたちの防災意識が高まってくれればと願っています。ありがとうございました。  
(加藤 久佳先生)

**テーマ：防災**

評価されたところ

- ・浜口梧陵という先人を意識してのテーマ性、ビジュアル性が高い。
- ・72人全員の感想も取り入れる工夫がされており、全員参加がうかがえる。

# 応募数

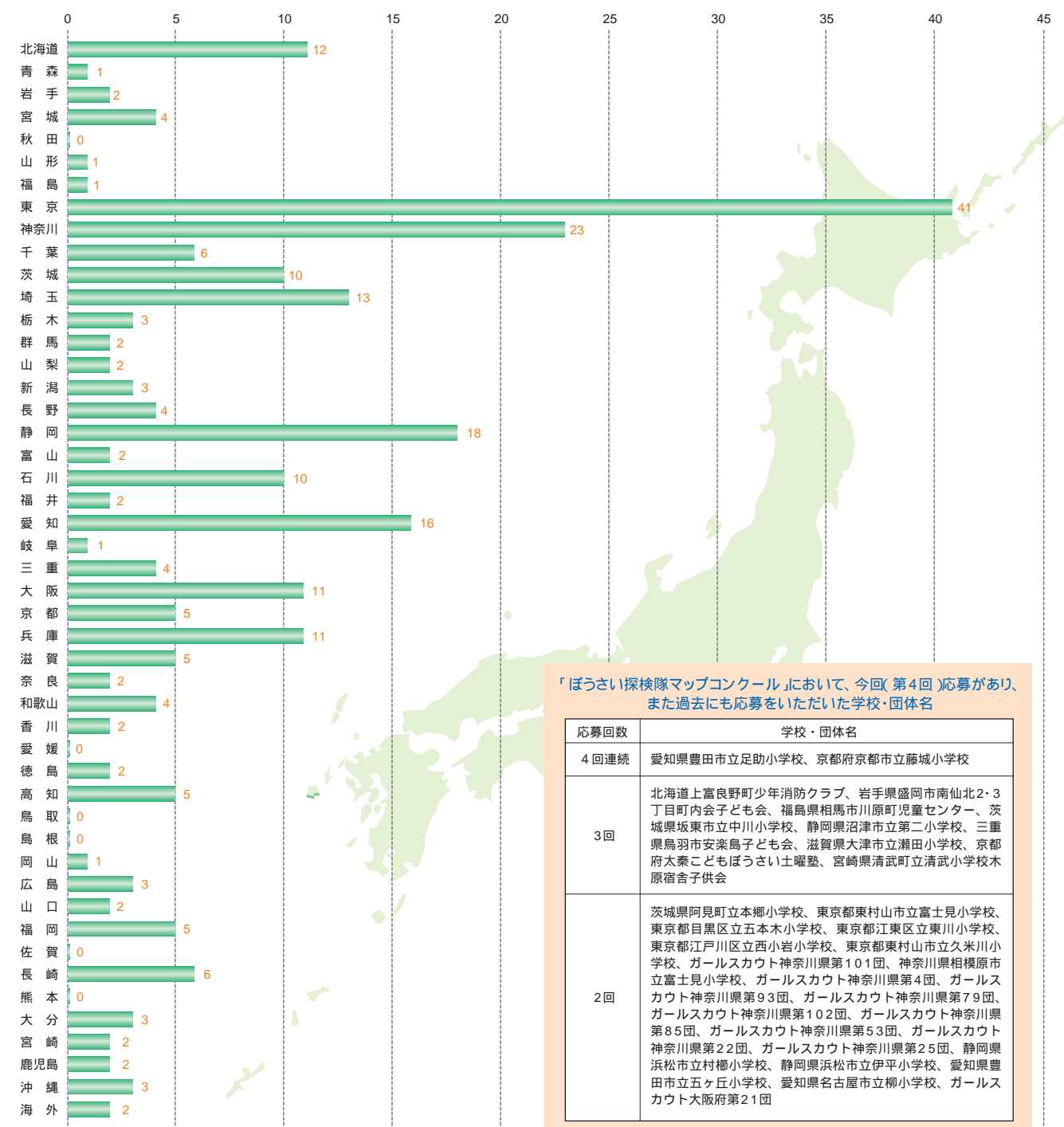
第4回「ぼうさい探検隊マップコンクール」には、全国から257校・団体(小学校159、団体98)、1374作品の応募がありました。 前回の応募数は、224校・団体(小学校118、団体106)、1052作品

## 応募一覧

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
北海道	12	51	遠軽町立湧別小学校、おもしろ防災教室、上富良野町少年消防クラブ、五丁目しお風こども会、札幌市立桑園小学校、札幌市ひのまる児童会館、札幌市立厚別東小学校、斜里町立峰浜小学校、すきっぷ帯小夢教室、伊達市立東小学校、函館市立木直小学校、室蘭市立給納小学校
青森	1	3	むつ市立大平小学校
岩手	2	7	奥州市立水沢南小学校区子ども会育成会連合会、南仙北2・3丁目町内会子ども会
宮城	4	15	仙台市立北六番丁小学校、東北福祉大学withボランティア、東松島市立赤井南小学校、本吉町立大谷小学校
山形	1	6	山形市立第三小学校
福島	1	1	相馬市川原町児童センター
東京	41	339	板橋消防少年団、稲城市立稲城第二小学校、江戸川区立上小岩小学校、江戸川区立第四葛西小学校、江戸川区立西小岩小学校、江戸川区立平井第二小学校、大田区立入新井第二小学校、大田区立洗足池小学校、大田区立馬込小学校、ガールスカウト東京都第12団、ボーイスカウト墨田第9団カプ隊、ボーイスカウト大島第1団、葛飾区立青戸小学校、江東区東川小学校、小平市立小平第二小学校、品川区立第二延山小学校、世田谷区立希望丘小学校、世田谷区立給田小学校、世田谷区立東深沢小学校等々力7丁目地域班、立川市立柏小学校、立川市立第十小学校、チーム青戸、千代田区立鶴町小学校、千代田区立鶴町小学校ワーク・わく・クラブ、千代田区立千代田小学校、足立区立伊興小学校開かれた学校づくり協議会、江戸川区立第六葛西小学校、東村山市立久米川小学校、東村山市立富士見小学校、中野区立中野昭和小学校、西東京市立けやき小学校、八王子市立中野北小学校、東久留米市立第八小学校、東村山市立東萩山小学校、東村山市立八坂小学校、府中消防少年団、みつば3班有志、目黒区立五本木小学校、目黒区立八雲小学校、矢口消防少年団、早稲田大学周辺商店連合会
神奈川	23	106	愛川町立半原小学校、小田原市立町田小学校、小田原市立矢作小学校、ガールスカウト神奈川第4団、ガールスカウト神奈川第22団、ガールスカウト神奈川第25団、ガールスカウト神奈川第53団、ガールスカウト神奈川第79団、ガールスカウト神奈川第85団、ガールスカウト神奈川第93団、ガールスカウト神奈川第101団、ガールスカウト神奈川第102団、相模原市立富士見小学校、相模原市立陽光台小学校、茅ヶ崎市立須賀小学校、茅ヶ崎市立緑が浜小学校、特定非営利活動法人love つづき、藤沢市立大蔵小学校、保土ヶ谷区岩井町原地区青少年指導員連絡協議会、堀之内睦町BFC、森つひる(森の里地区地域子ども教室)横浜市立鶴見小学校、横浜市立みどり小学校
千葉	6	42	ガールスカウト千葉県第39団、ボーイスカウト松戸第10団カプスカウト隊、柏市立光ヶ丘小学校、第2小学校区地区社協平塚こども会、船橋市立若松小学校、八千代市立西高津小学校
茨城	10	61	Green Safey Club(緑区同好会)、梅園まき子会、笠間市社会福祉協議会宍戸支部、坂東市立中川小学校、阿見町立本郷小学校、常陸大宮市立大宮西小学校、ボーイスカウト水戸第4団ボーイ隊、ボーイスカウト日立第8団カプスカウト隊、水戸市立上中妻小学校、日立市立榎形小学校
埼玉	13	106	川口市立元郷南小学校、川越市立上戸小学校、川越市立川越小学校、坂戸市立北坂戸小学校、栗橋町立栗橋西小学校、草加市立小山小学校、草加市立新田小学校、草加市立長栄小学校、さいたま市立高砂小学校、飯能市立南高麗小学校、ふじみ野市立亀久保小学校、新座市立石神小学校、鳩ヶ谷市立鳩ヶ谷小学校
栃木	3	19	市貝町立小貝南小学校、ボーイスカウト宇都宮第12団、宇都宮市立御幸小学校
群馬	2	10	ガールスカウト群馬県第51団、玉村町立南小学校
山梨	2	4	ボーイスカウト富士吉田第1団ビーバー隊、ボーイスカウト富士吉田第1団カプスカウト隊
新潟	3	8	新潟市黒埼地区公民館、塩沢金城わかばくらぶ、ボーイスカウト豊栄第2団カプ隊
長野	4	21	ガールスカウト静岡県第34団、豊原地区庵原子どもボランティア隊、小山町立須走小学校、南伊豆町立南崎小学校、静岡市立清水小学校、静岡市立富士見小学校、富塚地区少年消防クラブ、沼津市立第二小学校、浜松市立伊平小学校、浜松市立篠原小学校、三島市立長伏小学校、雄略地区少年消防クラブ、浜松市穂志地区少年消防クラブ、浜松市立三方原小学校、浜松市立平山小学校、浜松市立村瀬小学校、三島市立北上小学校、焼津市立焼津西小学校北八幡地区あやめ1子ども会

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
富山	2	26	富山市立呉羽小学校、南砺市立福光東部小学校
石川	10	14	ガールスカウト石川県第5団、加賀市立南郷小学校、金沢市立伏見台小学校、七尾市立東湊小学校、能美市立寺井小学校、能美市立寺井中央児童館、白山市小坂公民館、白山市立北陽小学校、白山市立松南小学校、弥生校下少年連盟泉野町3丁目子ども会
福井	2	2	あわら市細呂木小学校、あわら立波松小学校
愛知	16	51	尾張旭市立東栄小学校、ガールスカウト三河西地区ブラウニ部門、ガールスカウト愛知県第35団、ガールスカウト愛知県第115団、蒲都市立中央小学校、さるびあ探検隊、豊田市立足助小学校、豊田市立五ヶ丘小学校、たかはま夢・未來塾、橋 KIDS FIRE GUARD、千早 KIDS FIRE GUARD、正木 KIDS FIRE GUARD、名古屋市立平和小学校、名古屋市立柳小学校、名古屋市立当知小学校、飛鳥村子ども連絡協議会
岐阜	1	1	笠松町立下羽葉小学校
三重	4	27	安楽島子ども会、いなべ市立員弁東小学校、いなべ市立西藤原小学校、松坂市立豊地小学校
大阪	11	68	大阪市立北田辺小学校PTA、大阪市立開田東小学校、大阪市立鯉江小学校、貝塚市立津田小学校、岸和田市立中央小学校、堺市立五箇荘小学校、堺市立浜寺小学校、ガールスカウト大阪第21団、東大阪市立大蓮東小学校、ボーイスカウト藤井寺第4団ビーバー隊、摂津市立鳥飼小学校
京都	5	23	太秦こどもぼうさい土曜塾、ガールスカウト京都府第7団、京都市立藤城小学校、京都市立六条院小学校、立命館小学校
兵庫	11	55	ガールスカウト兵庫県第16団、ガールスカウト兵庫県第81団、ガールスカウト兵庫県第90団、まちの育て広場やかまし村のこどもたち、神戸市立真陽小学校、新温泉町立春來小学校少年消防クラブ、特定非営利活動法人ニューいぶき、特定非営利活動法人兵庫県子ども文化振興協会夢野ハイタウンふれあい広場、バレ武庫川ブルミエールV子ども会、姫路市立英賀保小学校、三木市立三木小学校
滋賀	5	42	大津市南郷学区チェリーファーターズ、大津市立瀬田小学校、長浜市立浜北小学校、ふけ町ふるさとクラブ、わかこ環境探検団
奈良	2	2	桜ヶ丘小学校区こどもじま子ども会、鹿ノ原チームH9
和歌山	4	8	ガールスカウト和歌山県第2団、橋本市立橋本小学校自然体験クラブ、日高町立内原小学校、和歌山市四箇郷北小学校
香川	2	8	太田中央校区青少年健全育成連絡協議会、ボーイスカウト綾歌第3団
徳島	2	10	阿波市立林小学校、松茂町立長原小学校
高知	5	12	高知市地区六泉寺町子ども会、高知市立新堀小学校、高知市立横浜小学校、四万十町立立瀬津小学校、土佐清水市立窪津小学校
岡山	1	2	岡山市立高島小学校PTA
広島	3	31	尾道市立南小学校、府中市立明郷小学校、広島市立古市小学校
山口	2	12	周南市立戸田小学校、防府市立牟礼小学校
福岡	5	13	北九州市立大里東小学校、重留子供会、那珂川町立錦小学校アンビシャス広場、福岡市立三宅小学校、ボーイスカウト北九州第37団カプ隊
長崎	6	11	長崎大学教育学部附属小学校、ガールスカウト長崎県第8団、ボーイスカウト長崎第10団カプスカウト隊、南島原市立深江小学校、学童保育たちばなクラブ、葉山子供会
大分	3	18	上浦放課後児童クラブ、照波園地区子どもクラブ、別府市立石垣小学校
宮崎	2	13	清武町立清武小学校木原宿舎子供会、宮崎市立生目台東小学校
鹿児島	2	14	出水市立西出水小学校、南大隅町立大泊小学校
沖縄	3	12	ガールスカウト沖縄県糸満35団、宮古島市立久松小学校、那覇市識名児童館チャレンジクラブ
アメリカ	1	1	McConnell Elementary school(テネシー州)
トルコ	1	1	Tuncsiper Secondary school

## 都道府県別の応募分布



「ぼうさい探検隊マップコンクール」において、今回(第4回)応募があり、また過去にも応募をいただいた学校・団体名

応募回数	学校・団体名
4回連続	愛知県豊田市立足助小学校、京都府京都市立藤城小学校
3回	北海道上富良野町少年消防クラブ、岩手県盛岡市南仙北2・3丁目町内会子ども会、福島県相馬市川原町児童センター、茨城県坂東市立中川小学校、静岡県沼津市立第二小学校、三重県鳥羽市安楽島子ども会、滋賀県大津市立瀬田小学校、京都府太秦こどもぼうさい土曜塾、宮崎県清武町立清武小学校木原宿舎子供会
2回	茨城県阿見町立本郷小学校、東京都東村山市立富士見小学校、東京都江戸川区立西小岩小学校、東京都東村山市立久米川小学校、ガールスカウト神奈川第101団、神奈川県相模原市立富士見小学校、ガールスカウト神奈川第4団、ガールスカウト神奈川第93団、ガールスカウト神奈川第79団、ガールスカウト神奈川第102団、ガールスカウト神奈川第85団、ガールスカウト神奈川第53団、ガールスカウト神奈川第22団、ガールスカウト神奈川第25団、静岡県浜松市立村瀬小学校、静岡県浜松市立伊平小学校、愛知県豊田市立五ヶ丘小学校、愛知県名古屋市立柳小学校、ガールスカウト大阪府第21団

**万一のときのために 損害保険**

火災や事故にあわない、あってもその被害を小さくするための防災の知識を持ち、日ごろから準備をしておくことが大切です。

しかし、万一災害などで自分の住宅などに被害が生じた場合、修理費などが発生します。こうした事故への備えとして損害保険の知識をもち、必要な保険契約をしておくことは、自分や家族の生活を守る大切な備えとなります。